

平成19年度の自動車部品工業の経営動向

(社) 日本自動車部品工業会

(社) 日本自動車部品工業会は、正会員企業443社のうち、上場企業で自動車部品の売上高比率が50%以上の自動車部品専門企業86社の平成19年度の経営動向を各社の連結決算短信(※連結決算を行っていない企業は単独決算短信)により集計・分析した。

<自動車メーカーの状況>

平成19年度の自動車業界の状況についてみると、国内自動車販売は前年に引き続き、主に小型乗用車が大きく減少したこと、また軽自動車についても販売減となり国内販売全体で前年度比5.3%減と2年連続で減少となった。一方で輸出がアジア・中近東を始めとする新興地域向けで大幅に増加したこともあり国内生産としては6年連続で前年を上回り、平成19年度で1179万台、前年度比2.5%増となった。

年度後半で北米に端を発するサブプライムローン問題や、急激な円高ドル安、原油・原材料価格の高騰等の諸問題が起きたものの、全体的な傾向としては日系自動車メーカーのグローバル規模での自動車生産は拡大した。

<部品メーカーの状況>

このような中で、上記自動車部品メーカー86社の平成19年度の業績は次の通りとなった。

	18年度	19年度	前年度比
売上高	20兆7520億円	22兆8462億円	110.1%
営業利益	1兆2857億円	1兆5091億円	117.4%
売上高営業利益率	6.2%	6.6%	—
経常利益	1兆3445億円	1兆5130億円	112.5%
売上高経常利益率	6.5%	6.6%	—
当期利益	7727億円	8831億円	114.3%
売上高当期利益率	3.7%	3.9%	—

売上高は、日系自動車メーカーのグローバル規模での生産拡大や、それに伴う各部品メーカーの輸出拡大、現地化対応等によりアジアを中心に世界各地で引き続き増加傾向にあった。

利益に関しては、特に上半期での各社の原価低減活動の効果や好調な輸出にも支えられ全体では前年に対して増加した。しかしながら、年度後半(特に第4四半期以降)ではサブプライムローン問題や、急激な円高ドル安の進行、原油・原材料価格の高騰等大きな経営環境の変化があり、各社の収益に少なからず影響を与えたため、下期では売上高・利益ともに前年度比でアップはしたものの

の上期に比べて減速感が大きく、さらに次年度に向けての厳しい情勢を感じさせる結果となった。

また、各社の業績の格差も生じてきており、対象86社中の約24%超の企業で営業利益が減少し、経常利益では約38%、当期利益においては約35%の企業で前年を下回る結果となった。

地域別に見た場合、国内（単独）では売上こそ増収となったが営業利益・経常利益・当期利益とも減益となっている。各社販管費の削減等の経営努力はしているものの、特に下期では売上の伸びを売上原価の増加が上回り、収支を圧迫している。これはやはり原油・原材料価格の高騰と、それを販売価格に転嫁しきれていないことが大きく影響していると考えられる。

一方でアジア地域での売上・営業利益の伸びが非常に大きく、また営業利益率も群を抜いて高い結果となっている。

このような結果から、アジア地域での各社のオペレーションが業績に格差を発生させるひとつの要因と考えられる。

上記のような平成19年度後半からの情勢を引きずる形で、平成20年度通期の各社の業績見通しは、売上高は前年度比でほぼ横ばい（全体で100.3%）だが、対象86社のうち約60%の企業で減益の予想となっており、全体の営業利益・経常利益でも12～13%減と厳しい予想となっている。

背景として、売上面ではアジアを中心とする新興地域での生産・売上は引き続き増加が見込まれるとはいえ、国内需要に好転の兆しが薄いこと、また北米では需要そのものの大幅な減少と原油高の影響もあり売れ筋車種の小型化傾向による価格の低下が大きく影響していると考えられる。

収益面でも原油・原材料価格の更なる高騰に加え、グローバル化の進展による為替リスクの増大等不透明な部分が多く、各社の経営を昨年度以上に圧迫することが懸念される。

さらに、生産量の拡大への対応のための設備投資に伴う償却負担の増加や、グローバル競争の激化による部品単価の低下も今後の懸念事項として挙げられる。

【参考】過去の決算における前年度増減比較

	H20	H19	H18	H17	H16	H15	H14	H13	H12	H11	H10	H9
売上	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	○
営利	▲	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	▲	▲
経利	▲	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	▲	▲
当期	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	▲

※ ○：前年度比増 ▲：前年度比減

営業利益・経常利益は平成13年度以来の減益、当期利益では平成10年度以来の減益予想となっている。また、業界全体で増収減益としては平成9年度以来11期ぶりのこととなる。

自動車部品工業の経営動向

—主要上場企業86社の平成19年度の連結決算状況—

1. 対象企業

平成19年10月から平成20年3月までに決算期のある正会員上場企業で、売上高に占める自動車部品比率が50%以上の企業86社を対象とした。

2. 経営分析の方法

各社の**連結決算短信**（連結決算を行っていない企業は単独決算短信）による。

3. 決算状況

(1) 全体集計結果

	18年度	19年度	前年度比
売上高	20兆7520億円	22兆8462億円	110.1%
営業利益	1兆2857億円	1兆5091億円	117.4%
売上高営業利益率	6.2%	6.6%	—
経常利益	1兆3445億円	1兆5130億円	112.5%
売上高経常利益率	6.5%	6.6%	—
当期利益	7727億円	8831億円	114.3%
売上高当期利益率	3.7%	3.9%	—

	18年度			19年度		
	増加	減少	合計	増加	減少	合計
売上高	72社	11社	83社	82社	4社	86社
営業利益	50社(1)	33社(3)	83社(4)	65社(0)	21社(1)	86社(1)
経常利益	50社(-)	33社(3)	83社(3)	53社(0)	33社(2)	86社(2)
当期利益	44社(-)	39社(8)	83社(8)	56社(0)	30社(5)	86社(5)

※赤字幅が縮小した場合は「増加」、赤字幅が拡大した場合は「減少」に含める

※（ ）内は赤字計上会社数

※18年度は対象が83社であったため、その時点での集計数となっている。

① 売上高と営業利益の動向

		営業利益		
		増益	減益	計
売上高	増収	6 3 社 (73.3%)	1 9 社 (22.1%)	8 2 社 (95.3%)
	減収	2 社 (2.3%)	2 社 (2.3%)	4 社 (4.7%)
	計	6 5 社 (75.6%)	2 1 社 (24.4%)	8 6 社 (100.0%)

() は構成比

② 売上高と経常利益の動向

		経常利益		
		増益	減益	計
売上高	増収	5 1 社 (59.3%)	3 1 社 (36.0%)	8 2 社 (95.3%)
	減収	2 社 (2.3%)	2 社 (2.3%)	4 社 (4.7%)
	計	5 3 社 (61.6%)	3 3 社 (38.4%)	8 6 社 (100.0%)

() は構成比

③ 売上高と当期利益の動向

		当期利益		
		増益	減益	計
売上高	増収	5 4 社 (62.8%)	2 8 社 (32.6%)	8 2 社 (95.3%)
	減収	2 社 (2.3%)	2 社 (2.3%)	4 社 (4.7%)
	計	5 6 社 (65.1%)	3 0 社 (34.9%)	8 6 社 (100.0%)

() は構成比

(2) 収益構造

科目	18年度		19年度		
	金額(億円)	構成比	金額(億円)	前年度比	構成比
売上高	207,520	100.0%	228,462	110.1%	100.0%
売上原価	176,115	84.9%	193,251	109.7%	84.6%
販売費及び一般管理費	18,547	8.9%	20,119	108.5%	8.8%
営業利益	12,857	6.2%	15,091	117.4%	6.6%
営業外収益	1,847	0.9%	1,915	103.7%	0.8%
営業外費用	1,250	0.6%	1,876	150.1%	0.8%
経常利益	13,445	6.5%	15,131	112.5%	6.6%
特別利益	721	0.3%	555	76.9%	0.2%
特別損失	1,017	0.5%	838	82.4%	0.4%
税金等調整前当期利益	13,149	6.3%	14,847	112.9%	6.5%
当期利益	7,727	3.7%	8,831	114.3%	3.9%

(3) 連単倍率の推移

	18年度	19年度	前年度差
売上高	1.66	1.89	0.23
営業利益	2.11	2.58	0.47
経常利益	1.71	2.10	0.39
当期利益	1.53	1.90	0.37

(4) 所在地別の売上高、利益の状況

所在地	売上高(億円) (注2)	前年度比	営業利益(億円)	前年度比	利益率	
日本	157,949	106.3%	8,959	99.4%	5.7%	
海外	北中南米	45,020	106.4%	1,535	116.7%	3.4%
	欧州	20,487	116.8%	619	210.3%	3.0%
	アジア	29,923	133.6%	3,719	166.1%	12.4%
	分類不可等	7,719	130.4%	475	160.3%	6.2%
(消去) (注3)	(32,636)	—	(216)	—	—	
合計 (注4)	228,462	110.1%	15,091	117.4%	6.6%	

(注1) 海外所在地の内訳は下記の通りである。

北中南米：カナダ、アメリカ、メキシコ、ブラジル等

欧州：イギリス、フランス、ドイツ、スペイン、イタリア、チェコ、ハンガリー等

アジア：タイ、インドネシア、フィリピン、マレーシア、シンガポール、台湾、中国、韓国、ベトナム、インド、一部オーストラリアを含む等

(注2) 海外の売上高は、各地域の連結子会社の売上高であり、たとえば日本から海外の顧客あての直接売上（子会社を経由しない場合）は、日本の売上高に計上されている。

(注3) 消去は、所在地間の内部売上高を表す。

(注4) 売上高の合計は、各社の四捨五入処理等の数値を合計しているため、表中の各所在地の売上高数値を単純に集計したとしても、表中の合計数値とは一致しない。

(5) 設備投資の動向（設備投資と関係の深い有形固定資産取得のための支出額、減価償却費を集計）

① 有形固定資産（一部無形固定資産を含む）取得のための支出額

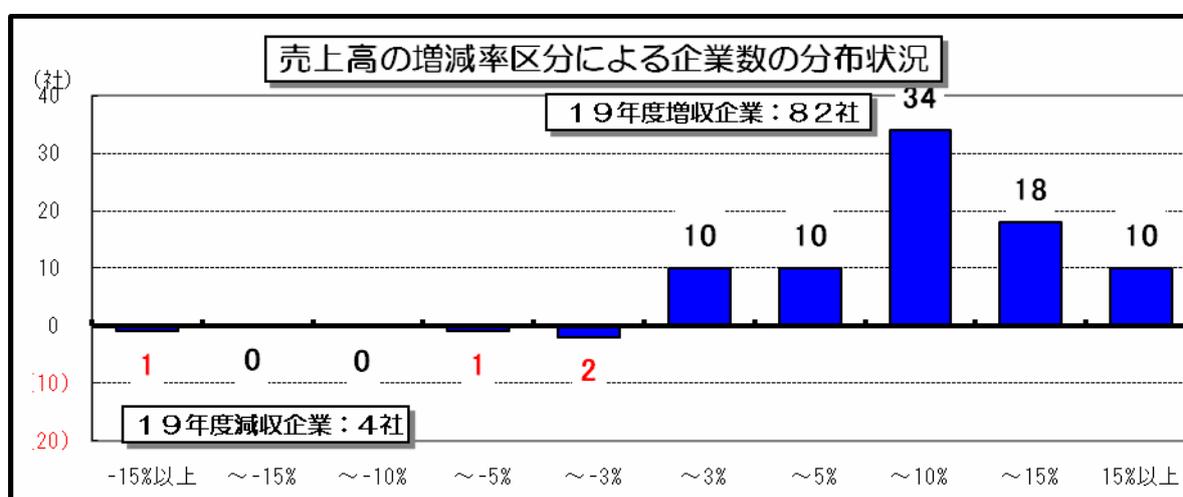
	18年度	19年度	前年度比
有形固定資産取得のための支出額(億円)	15,553	16,402	105.5%

② 減価償却費

	18年度	19年度	前年度比
減価償却費(億円)	10,288	11,990	116.5%

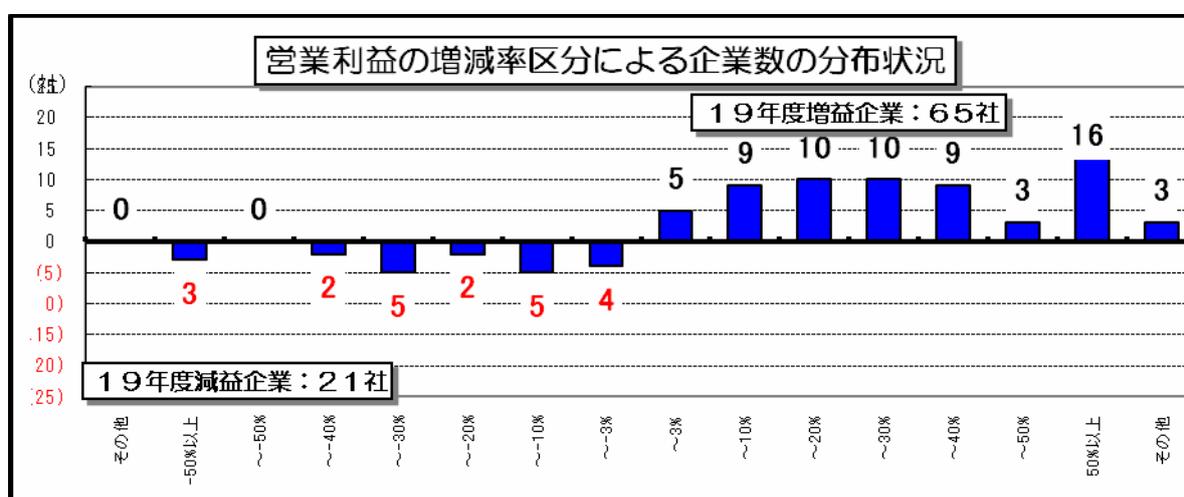
4. 分析結果

(1) 売上高の状況

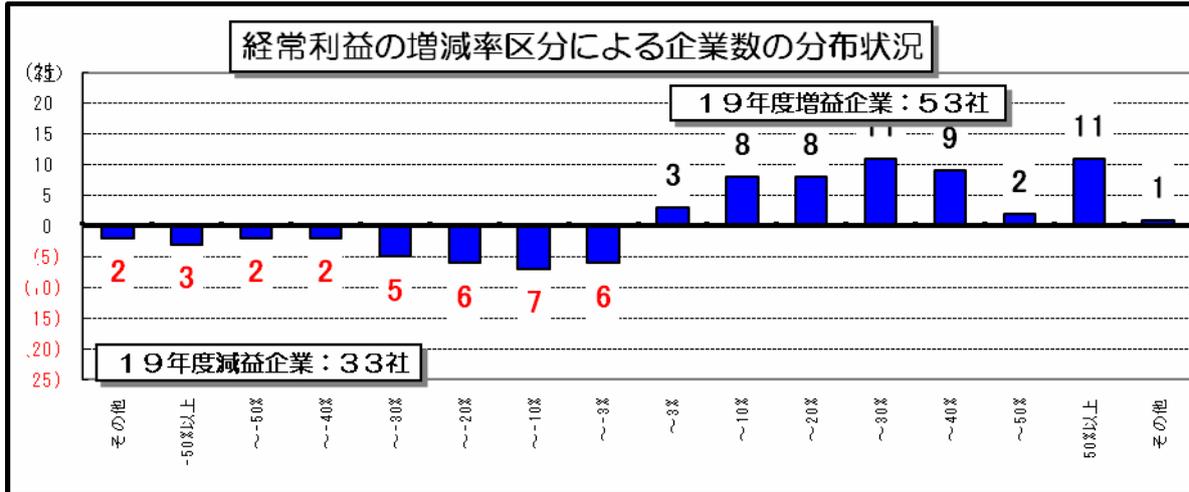


(2) 利益の状況

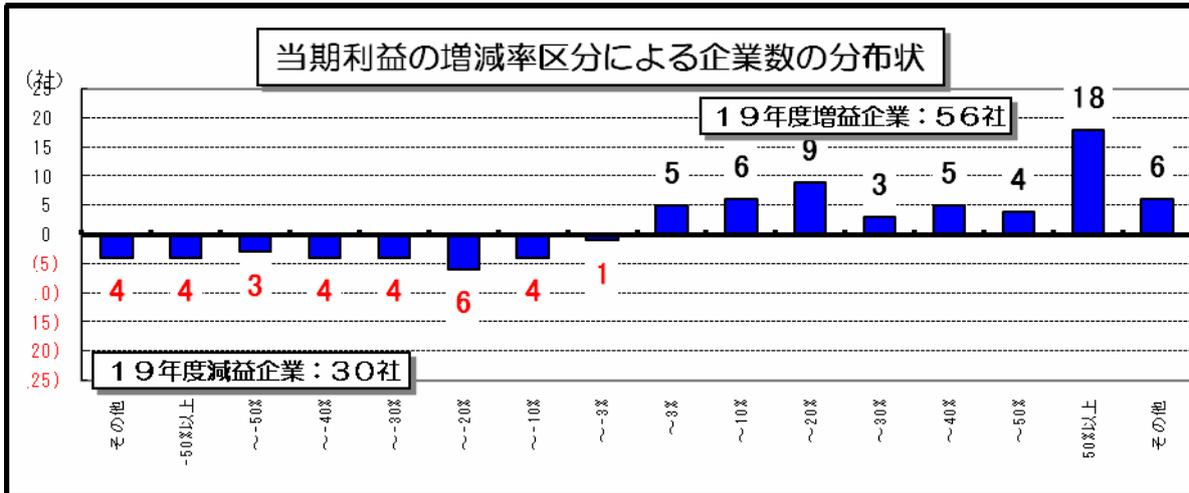
① 営業利益の状況



② 経常利益の状況



③ 当期利益の状況



5. 平成20年度の業績見通し

(1) 全体の業績見通し

	19年度	20年度見通し	前年度比
売上高	22兆8462億円	22兆9212億円	100.3%
営業利益	1兆5091億円	1兆3104億円	86.8%
売上高営業利益率	6.6%	5.7%	—
経常利益	1兆5130億円	1兆3420億円	88.7%
売上高経常利益率	6.6%	5.9%	—
当期利益	8831億円	7766億円	87.9%
売上高当期利益率	3.9%	3.4%	—

	19年度			20年度		
	増加	減少	合計	増加	減少	合計
売上高	82社	4社	86社	50社	36社	86社
営業利益	65社(0)	21社(1)	86社(1)	31社(1)	55社(0)	86社(1)
経常利益	53社(0)	33社(2)	86社(2)	32社(0)	54社(0)	86社(0)
当期利益	56社(0)	30社(5)	86社(5)	36社(0)	50社(0)	86社(0)

※赤字幅が減少する場合は「増加」、赤字幅が拡大する場合は「減少」に含める。

※（ ）内は赤字計上会社数

(2) 全体の業績動向見通し（売上高と経常利益の動向）

		経常利益		
		増益	減益	計
売上高	増収	24社	26社	50社
	減収	8社	28社	36社
	計	32社	54社	86社

主要上場企業 86 社の平成 19 年度の単独決算状況

1. 対象企業

平成 19 年 10 月から平成 20 年 3 月までに決算期のある正会員上場企業で、売上高に占める自動車部品比率が 50%以上の企業 86 社を対象とした。

2. 経営分析の方法

各社の単独決算短信による。

3. 決算状況

① 全体集計結果

	18年度	19年度	前年度比
売上高	1 2 兆 3 6 3 8 億円	1 3 兆 2 2 1 6 億円	1 0 6 . 9 %
営業利益	6 2 9 0 億円	6 1 4 1 億円	9 7 . 6 %
売上高営業利益率	5 . 1 %	4 . 6 %	—
経常利益	7 7 0 8 億円	7 3 4 6 億円	9 5 . 3 %
売上高経常利益率	6 . 2 %	5 . 6 %	—
当期利益	4 6 9 5 億円	4 6 3 9 億円	9 8 . 8 %
売上高当期利益率	3 . 8 %	3 . 5 %	—

	18年度			19年度		
	増加	減少	合計	増加	減少	合計
売上高	7 4 社	9 社	8 3 社	7 2 社	1 4 社	8 6 社
営業利益	5 0 社(0)	3 3 社(1)	8 3 社(1)	4 5 社(2)	4 1 社(5)	8 6 社(7)
経常利益	5 7 社(0)	2 6 社(1)	8 3 社(1)	4 0 社(2)	4 6 社(5)	8 6 社(7)
当期利益	5 3 社(2)	3 0 社(5)	8 3 社(7)	4 4 社(0)	4 2 社(7)	8 6 社(7)

※赤字幅が縮小した場合は「増加」、赤字幅が拡大した場合は「減少」に含める

※（ ）内は赤字計上会社数

※18年度は対象が83社であったため、その時点での集計数となっている。

② 売上高と営業利益の動向

		営業利益		
		増益	減益	計
売上高	増収	4 1 社 (47.7%)	3 1 社 (36.0%)	7 2 社 (83.7%)
	減収	4 社 (4.7%)	1 0 社 (11.6%)	1 4 社 (16.3%)
	計	4 5 社 (52.3%)	4 1 社 (47.7%)	8 6 社 (100.0%)

③ 売上高と経常利益の動向

		経常利益		
		増益	減益	計
売上高	増収	3 7 社 (43.0%)	3 5 社 (40.7%)	7 2 社 (83.7%)
	減収	3 社 (3.5%)	1 1 社 (12.8%)	1 4 社 (16.3%)
	計	4 0 社 (46.5%)	4 6 社 (53.5%)	8 6 社 (100.0%)

平成19年度の自動車部品工業の経営動向（連結決算）

プレス発表資料

◎対象企業：平成19年10月から平成20年3月までに中間決算期のある正会員上場企業で、売上高に占める自動車部品比率が50%以上の企業86社を対象とし、各社の決算短信により集計した。

(百万円)

	平成18年度			平成19年度			平成20年度予測		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高 (A)	9,854,520	10,897,501	20,752,021	11,000,160	11,846,027	22,846,187	11,119,087	11,802,150	22,921,237
対前年度比	—	—	—	111.6%	108.7%	110.1%	101.1%	99.6%	100.3%
営業利益 (B)	583,640	702,098	1,285,738	695,664	813,445	1,509,109	573,021	737,412	1,310,433
対前年度比	—	—	—	119.2%	115.9%	117.4%	82.4%	90.7%	86.8%
経常利益 (C)	610,877	733,659	1,344,536	724,595	788,462	1,513,057	591,043	750,971	1,342,014
対前年度比	—	—	—	118.6%	107.5%	112.5%	81.6%	95.2%	88.7%
当期利益 (D)	339,870	432,829	772,699	412,244	470,862	883,106	333,240	443,393	776,633
対前年度比	—	—	—	121.3%	108.8%	114.3%	80.8%	94.2%	87.9%
営業利益率 (B) / (A)	5.9%	6.4%	6.2%	6.3%	6.9%	6.6%	5.2%	6.2%	5.7%
経常利益率 (C) / (A)	6.2%	6.7%	6.5%	6.6%	6.7%	6.6%	5.3%	6.4%	5.9%
当期利益率 (D) / (A)	3.4%	4.0%	3.7%	3.7%	4.0%	3.9%	3.0%	3.8%	3.4%

※平成18年度は対象企業の追加（新規上場、合併等）により、17年度と同一企業ベースでの比較ができないため、前年度比を記載していない。